

旭市長によるテープカット(左から太田市長、
旭市・明智前市長、銚子市・越川市長、



広域ごみ最終処分場が完成 埋め立て計画期間は20年間

東総地区広域市町村圏事務組合(本市と銚子市、旭市の3市で構成)が建設を進めていた「東総地区最終処分場」が完成し、竣工式が6月25日、銚子市森戸町で行われました。

最終処分場は建設事業費約36億円。周囲を屋根と壁で覆ったクローズド型を採用し、処理水を場外に出さない循環型の施設で、広域ごみ処理施設「東総地区クリーンセンター」(銚子市野尻町)から出る灰を受け入れます。埋め立て計画期間は、2041年までの20年間です。

元日本代表選手の技術指導も 第15回近隣中学校招待ソフトボール大会

海匠、山武地域の女子ソフトボール部が集う「第15回近隣中学校招待ソフトボール大会」が6月26日、八日市場第二中学校で行われ、本市近隣の6校が参加し、トーナメント形式で優勝を争いました。

この日は、元日本代表の大久保美紗さんを特別ゲストとして招いてのソフトボール教室も行われました。

◆競技結果

優勝…第一中学校(旭市) 準優勝…大網中学校(大網白里市) 3位…第二中学校(旭市) 3位…八日市場第二中学校



中学生を指導する
大久保さん



力強いボールを投げる
八日市場第二中の投手

公認コースで好スコア狙う パークゴルフそうさ 初公式大会

パークゴルフそうさで7月18日、初の公式大会が行われました。

本大会は、昨年10月にオープンしたパークゴルフそうさが、日本パークゴルフ協会から公認コースの認定を受けたことを記念して開催されたものです。初心者、経験者の両部に計53人が参加し、起伏に富んだコースで好スコアを目指して競い合いました。

◆競技結果(敬称略)

▶経験者の部 優勝…長谷川光江 準優勝…山下秀雄 3位…大木勲 ▶初心者の部 優勝…菊間徳子 準優勝…伊波茂子 3位…有田弘子

グループごとにコースを回る参加者たち



“トーチキス”でつなぐ灯火 聖火リレー「点火セレモニー」



トーチキスで聖火を受け取る瀧田さん(左)

全区間における走行が中止となった県内のオリンピック聖火リレーに関連し、その代替措置として、ランナーが一つの会場に集まって聖火をつなぐ「点火セレモニー」が、7月1日から3日まで行われました。

セレモニーは、聖火リレーの各日の到着地点となっていた山武市、千葉市、松戸市でそれぞれ開催。本市区間の走行を予定していた、千葉県選考の“地域ゆかりのランナー”瀧田礼子さん(椿)を含む16人は、山武市会場のセレモニーに参加しました。

ランナーは、1人ずつ登壇し、トーチを近づけて火を移す“トーチキス”を行い、オリンピック開催に向けてそれぞれの思いを胸に聖火をつなぎました。

本市の高校生、全国へはばたく 出場選手が市長訪問

陸上、バレーボール、エアライフルの各競技で全国大会に出場する、本市出身の高校生が太田市長を表敬訪問しました。

成田高校2年・白土莉紅さん(横須賀)は、「全国高等学校総合体育大会陸上競技大会」(福井県開催)に、女子100mハードルと女子走り幅跳びの2種目で出場します。6月に行われた南関東予選会において、女子100mハードルで5位に、女子走り幅跳びで3位に入賞し、両種目の出場権を獲得したことによるものです。

敬愛学園高校2年・大木奈々さん(吉田)と同1年・越智葉月さん(飯倉台)は、6月に行われたバレーボール千葉県高校総体で見事優勝。「全国高等学校総合体育大会女子バレーボール競技大会」(石川県開催)への出場を決めました。

千葉黎明高校1年・吉野拓海さん(八日市場ホ)は、「全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会」(広島県開催)エアライフル立射競技(男子個人戦)に出場。吉野さんは、6月に行われた千葉県大会のエアライフル射撃男子ARで優勝し、出場権を獲得しました。



太田市長と、(写真左から)白土さん、越智さん、大木さん(7月15日撮影)



太田市長と吉野さん(7月28日撮影)

※陸上競技大会は7月28日～8月1日に、女子バレーボール大会は7月27日～31日に、ライフル射撃競技選手権大会は8月8日～11日に、それぞれ開催されました。



全国優勝を果たした(写真左から)香取さん、伊藤さん、山中さん

リトルリーグで全国優勝 八二中・香取さん、伊藤さん、山中さん

リトルリーグ(硬式野球)の日本一を決める「J A 共済杯第9回インターメディアット全日本選手権大会」が7月10日・11日に、茨城県牛久市で開催され、八日市場第二中学校1年の香取駿斗さん(飯倉)、伊藤空輝さん(八日市場イ)、山中栄之さん(若潮町)が出場し、見事優勝を果たしました。

3人は、それぞれ地元の少年野球チームを昨年12月に卒団。この8月まで九十九里リトルリーグで硬式野球に打ち込みました。

ボランティアで児童見守る 豊和地区に「夏休みこども教室」

豊和村づくり協議会が主体となり、地元小学生が日中の時間を過ごす「夏休みこども教室」が、同地区のコミュニティセンターで開かれました。

これは、夏休み期間中に保護者が仕事で留守の場合、児童を預けられる場を地域につくろうと、同協議会がボランティアを募り、初めて実施したものです。運営には、指導員と有償ボランティアの他、高校生ボランティアも携わり、7月26日から8月31日までの週5日、教室が開かれました。高校生ボランティアとして参加した和洋国府台女子高校3年・瀧田颯葵さん(春海)は、「保育に興味があり参加しました。次回もあるなら、ぜひ参加したいです」と話していました。



高校生ボランティアと造形体験をする子ども